

# 2014年7月26日(土)9:00～名細市民センター「第16回・男のゆうゆう塾」

## 第2回「原発の核のゴミ処理」健康管理士・小林英二さん

出席者(20名) 南、弓野、青山、上野、斉藤、遠藤、浦野、辻、御菩薩木、加藤政、金田、栗栖、竹内、佐藤、永山、大島、江田、鈴木、渡辺、新井、

2011年東京電力福島第一原子力発電所の事故は、3号機の爆発に伴い奇跡的に4号機の爆発が防げたことで現在の避難地域で治まったらしい。原発が生む放射性廃棄物をどう処理するか、放射能が無くなるまで約10万年かかるとされている。人類が完全に制御出来ない存在の原子核エネルギーの話に暑さを忘れました。



小林英二/プロフィール

学歴: 東京理科大学理学部物理学卒業  
東京学芸大学大学院  
教育学研究科(科学教育/健康科学教育)修了

職歴: 埼玉県立高等学校教諭、上智大学、聖学院大学・講師を歴任

現職: 健康科学教育研究所・代表 健康管理士



おわりに

▼放射性物質を発見したキュリー婦人の「ノーベル賞受賞記念講演」より

“...自然の秘密を知ることは、本当に人類の利益になるのだろうか。人類には、それを有効利用する用意があるのだろうか。その知識が、人類に害をもたらすことはないのだろうか。しかし、私は人類がこうした新発見から、害悪より利益を引き出すと信じる者の一人です。...” 1905年 ピエール・キュリー

